

年末年始の食料支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

今年もいよいよ残すところわずかとなりました。今月は年末年始の食料支出（外食を除く）について、みてみましょう。

年末に増える食料支出

平成18年12月と19年1月について、1世帯当たり食料の日別支出金額をみると、12月は1月よりも全体的に多く、特に28日から大晦日にかけて多くなっています（図1）。

年始早々からお買い物

次に、年末年始（12月27日～1月5日）10日間の食料支出金額を100として年末（12月27日～31日）と年始（1月1日～5日）の支出割合をみると、平成18年度は年末が72.8%、年始が27.2%となっています。これを10年前と比べると、年末の支出割合が減少し、年始の支出割合が6.4ポイント増加しています（図2）。

年始に支出割合が増した項目

最後に、食料の内訳項目ごとに年末年始の10日間に占める年始5日間の支出割合をみると、10年前に比べ、牛乳や卵などの乳卵類への支出割合が最も増えており、次いで、油脂・調味料、飲料、野菜・海藻、調理食品となっています（表）。

これらから、近年、スーパーなどでお正月期間の閉店期間が短くなっていることや、コンビニエンスストアの普及から年末に買い置きをせず、年始に食料を購入する傾向がうかがえます。

12月の家計の状況を見る上で、年末賞与（ボーナス）を含めた収入の動きが大変重要となっております。年末賞与（ボーナス）が支給された世帯におかれましては、家計簿への記入漏れ・記入忘れのないように、お願いいたします。

図1 食料の日別支出金額
(平成18年12月～19年1月)

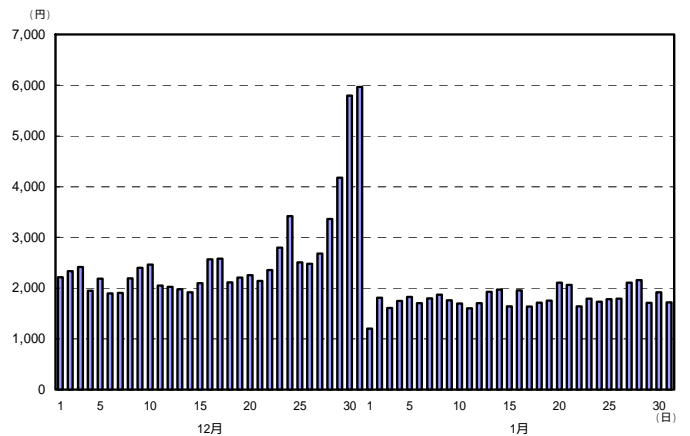


図2 食料の年末・年始支出割合
(平成8年度・18年度)

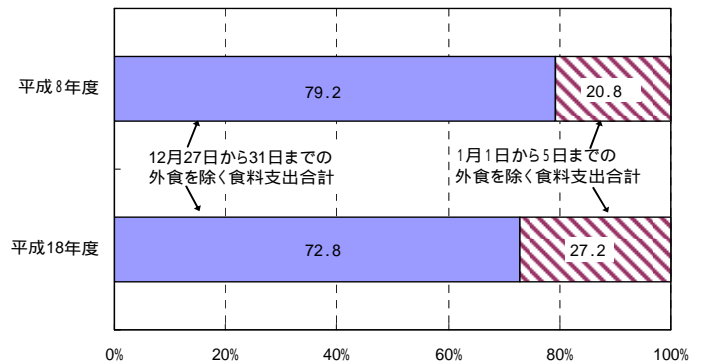


表 食料の内訳別にみた年末年始に占める年始の支出割合 (平成8年度・18年度)

	平成8年度	平成18年度	ポイント差
乳卵類	23.5	31.7	8.2
油脂・調味料	20.7	28.8	8.1
飲料	31.8	39.7	7.9
野菜・海藻	18.0	25.5	7.5
調理食品	20.5	27.6	7.1